

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	松井ヶ丘保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成27年11月26日

総 評	<p>松井ヶ丘保育園は、昭和54年に開設され、平成23年に現在の新園舎に移設されました。松井山手駅前の0, 1歳児定員30名の分園を含めて、0歳児から5歳児まで240名の保育を行っています。</p> <p>保育理念として、「生きるための基礎となる力」、「福祉の積極的な増進」、「子どもの最善の利益を守る」を掲げ、地域のニーズに合った園運営がなされています。分園では0, 1歳児が家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごしており、2～5歳児は、子どもの主体性を大切にした環境構成がなされており、幼児クラスでは英語遊びや自然体験、色遊びなど特色ある保育を実践されています。保育の質の向上を図るために園内研修を毎月実施されており、管理者を中心にそれぞれの職員が各自の役割を把握し、向上心をもって意欲的に保育に取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・園内はオープンスペースやランチルームなど、子どもたちがゆったりと過ごせる環境が整っており、子どもたちの自発的な生活や遊びが保障されています。 ・職員の資質向上のための研修が計画的に実施されており、職員も向上心をもって職務に取り組んでいます。また、働きやすい職場環境の充実にも積極的に取り組まれています。 ・地域の子育て支援活動やエコ活動、高齢者施設への訪問など地域との関わりを大切にされています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程の評価や見直しについて、年度末等に職員全体が参加して行うとなお良いでしょう。 ・職員個人の個別研修計画は作成されていますが、保育園としての研修計画を作成した上で職員に周知していくとなお良いでしょう。 ・今後は、子どもの発達段階に即した玩具・手作りおもちゃ等を準備されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所版 評価結果対比シート

受診施設名	松井ヶ丘保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成27年11月26日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	—	—
		I-2-1 (2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		B	A
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		A	A
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		B	B
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・ 保育理念、基本方針、目標が、園のパンフレットやホームページに明示され、掲示板等を利用して、広く周知されています。
- ・ 保育理念や保育方針・保育目標は、年度当初に園長から職員に提示され、その後もリーダー会議やミーティング等の場で園長や主任が継続的に伝えていきます。
- ・ 保育課程を編成する上で、行事後に保護者に対して保育内容や行事に対するアンケート調査を行うことで、保護者の意向を把握する努力をされています。
- ・ 保育課程や年間指導計画、短期指導計画等が細かく整備され、整合性が図られています。いつでも全職員が閲覧できるようにファイリングを工夫されるとなおいでしよう。
- ・ 保育課程の評価や見直しについて、年度末等に職員全体が参加して行うとなおいでしよう。
- ・ 保育の内容は、写真を活用し解説と共に利用者にも周知されています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	B
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。		A	A	
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

【自由記述欄】

- ・園長は、保育団体の研修等で保育制度問題や子育て環境の情報を集めるなど、事業経営をとりまく環境の把握に努めています。
- ・園長は、職員の就業状況を把握しています。また、独自に求人用リーフレットを作成するなど保育士の人材確保に取り組まれています。
- ・研修の中でも園内研修を業者に委託し、年12回計画的に実施されており、職員の質向上に取り組まれています。
- ・職員個人の個別研修計画は作成されていますが、保育園としての研修計画を作成した上で職員に周知していくと良いでしょう。
- ・地域の子育て支援のため、園庭開放の他、市内の大学の行事などの際、参加者の保育を必要とする子どもの保育に出向いたりするなど、保育所の機能を地域に還元しています。
- ・自然環境保護活動（エコ活動）として、地域のゴミ拾いを行い、子どもたちがゴミの分別を行うなど、地域との関わりを大切にしています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A
[自由記述欄]				
<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する規程・マニュアルが整備されており、その内容についての職員研修の実施及び個人情報保護に対する職員との誓約を交わして周知徹底を図っています。				
<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みを整備し、保護者に明示しています。利用者からの意見に対して迅速かつ丁寧な初期対応を心がけて、保護者との信頼関係、保育の質の向上につなげています。				
<input type="checkbox"/> 第三者評価は3度目の受診で、平成19年度以来定期的に受診しています。前回結果とチェックリストの内容から園の課題を職員間で共有し、また、各自「自己改新計画」シート作成にも取り組み、保育士の意識向上とチーム力を高める実践をしています。				
<input type="checkbox"/> 毎日、朝・昼礼を行い、週に1度、ケース会議を含む全体会議を行い、子ども一人ひとりの発達状況、保育の実際について話し合い、職員間で共有し、細やかな対応を心がけています。				
<input type="checkbox"/> 保育に必要な記録は園総合支援システムに記録され、管理体制も確立されています。園総合支援システムの記録は、転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応としての申し送りに「保育カルテ」という様式で在園児と同様に保護者に渡しています。				



評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	B	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B

【自由記述欄】

- ・内科健診・歯科健診の診断結果は京田辺市作成の「健康手帳」で各家庭に知らせています。また、診断結果については、全職員が共有し、保育に反映しています。
- ・感染症発生時対応マニュアルがあり、発生状況についても園内に掲示するなど情報を共有しています。
- ・専用のランチルームがあり、調理室内が見えるよう整備されています。子ども用のエプロンが用意されており、お当番が配膳に参加し食事に興味を持てるよう配慮しています。
- ・週1回の全体会議（各クラス委員や調理師も出席）で子どもの喫食状況を話し合い、子ども一人ひとりの発育状況や体調を考慮した献立を作るよう工夫しています。
- ・アレルギーの子どもへの対応として、昼礼に調理師が参加し情報を共有するなど誤食がないように工夫しています。
- ・子どもたちが生活するにふさわしい安全で清潔な環境が整備されています。また、体調などが優れないときなどに安心してくつろげる場所が確保されています。
- ・0・1歳児は分園で保育をしています。玄関スペースには子どもの作った作品が飾られ温かい雰囲気があります。
- ・好きな遊びができるコーナーを設置し子どもが自由に思い思いの遊びに没頭できるよう工夫や働きかけをしています。今後は、子どもの発達段階に即した玩具・手作りおもちゃなどを準備されるなどお良いでしょう。
- ・各クラスの伝言ノートが延長保育にも継続されることにより、延長保育担当者にも情報が伝達されるシステムが構築されています。



評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	—	—

[自由記述欄]

保護者との日常的な情報交換は送迎時に行っています。全園児が連絡帳を持ち、乳児クラスは保護者と毎日連絡帳で連絡を密に取り合い、しっかり連携をしています。個別面談も定期的に行っています。

入所児童の保護者に対して、保育参観時にクラスの様子を伝える時間を設け、保護者との共通理解を得られるよう取り組んでいます。

虐待を受けていると疑われる子どもの対応については、通告先の連絡先を明示するとともに、必要に応じて関係機関との連携を行い、虐待を未然に防ぐ仕組みを構築しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

給食業務委託業者との衛生管理共通マニュアルに基づき、組織的、継続的に衛生管理が実施されています。

食中毒や事故防止策のマニュアルが整備されています。災害報告書・ヒヤリハット事例・チェックリスト等を活用して事故防止に努めています。

不審者侵入時における対応マニュアルが整備され、警察との連携のもとで防犯研修及び訓練を実施しています。